

令和5年10月18日

学生 各位

教務主事  
専攻科長

### 生成系 AI 使用に関する注意事項

生成系 AI (ChatGPT, Bard, Stable Diffusion 等) はスマホ等があればいつでも誰でも利用できるようになってきました。生成系 AI の使用は、質問事項を工夫することによって、自らの学習を深める可能性があるなど、利点も考えられます。生成系 AI の使用は大変有用であると同時に注意しなければならないリスクも存在します。学生の皆さんは生成系 AI を使用するにあたって以下の事項に特に注意してください。

1. 生成系 AI では創造性が必要なものを生み出すことは難しいと思われます。単語の出現頻度や相互関係から文章を作成するため、もっともらしい内容になっているように思われますが、意外に間違いが多く、生成系 AI で作られた文章に限界があることを知っていただければなりません。
2. 生成系 AI で作成された文章の中には、著作物が含まれていることがあります。この場合、皆さん自身に自覚がないうちに著作権侵害、盗作、剽窃等の問題に巻き込まれる可能性があります。従って、皆さんは、生成系 AI で作られた文章のみを使って、課題、レポート、卒業研究報告書等を作成することをしてはいけません。これは、不正な行為に相当すると考えられます。
3. 生成系 AI で文章を作成する場合、質問を入力しますが、これらも AI の学習に利用されたり、他の人の回答に利用されたりすることが考えられます。また、質問の中に個人情報や個人のプライバシー、研究データ等を含んでしまった場合、それらが皆さんの意図せず、流出・漏えいすることが考えられますので、十分な注意が必要です。

### 今後の対応

生成系 AI の登場は、社会構造を大きく変える可能性があると考えられています。生成系 AI にいくつかの問題点はあるにしても、わたしたちにはこれらの新しい技術を効果的に活用していくことで新しい時代に対応していくことが求められています。本校としては、他の高等教育機関の事例等を積極的に収集しながら、生成系 AI をどのように教育・研究に活用していくのかという課題に継続的に取り組んでいきたいと考えています。